

令和6年度

全国学力・学習状況調査結果概要

【実施期間】令和6年4月18日(火)

【実施校数・実施児童生徒数】

小学校13校 中学校5校 義務教育学校1校

小・義6年生 779名 中3義9年生735名

【実施内容】

◎教科に関する調査

小:国語・算数 中:国語・数学

◎質問紙調査

※原則すべての児童生徒を対象に、オンライン方式により実施

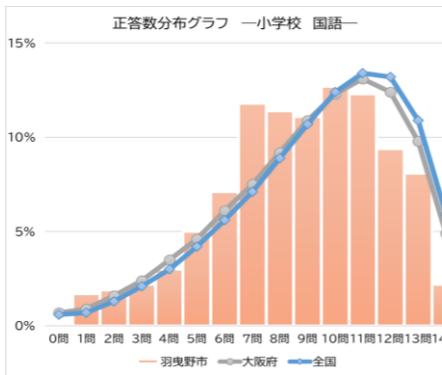
【調査目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育政策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

各教科の状況

小学校国語

小学校国語	学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
		羽曳野市	大阪府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	59.9	63.4	64.4
	情報の扱い方に関する事項	83.5	85.5	86.9
	我が国の言語文化に関する事項	68.6	72.6	74.6
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.8	57.3	59.8
	書くこと	60.3	65.9	68.4
	読むこと	66.6	69	70.7



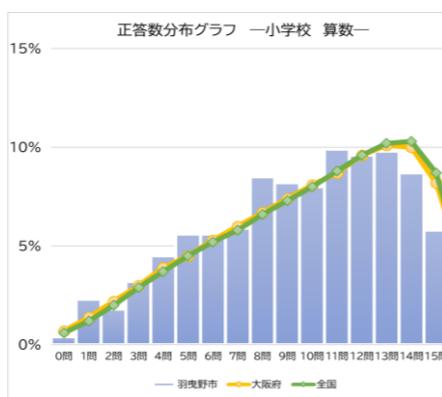
○情報の扱い方に関する事項では、図などによる語句と語句との関係(イメージマップの書き表し方)を理解できていました。

●「書くこと」では、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がありました。

●「話すこと・聞くこと」では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるような表現の工夫について読み取ることに課題がありました。

小学校算数

小学校算数	学習指導要領の領域および評価の観点	平均正答率(%)		
		羽曳野市	大阪府	全国
領域	数と計算	61.9	65.3	66
	図形	63.2	65.2	66.3
	変化と関係	45.9	50.9	51.7
	データの活用	58.6	60.9	61.8
評価の観点	知識・技能	69.2	71.9	72.8
	思考・判断・表現	47.1	50.5	51.4



○数量の関係を、□を用いた式に表すことができました。

○直方体の見取り図、円グラフの特徴など理解することができました。

●球がぴったりと入る立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がありました。

●家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書くことに課題がありました。

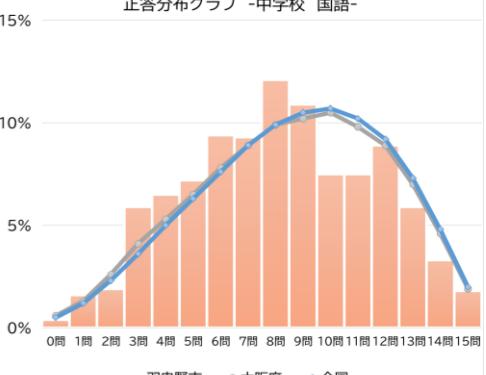
無解答率

小学校	羽曳野市	大阪府	全国	対全国差
国語	3.9	4.3	4.2	0.3
算数	3.2	3.4	3.4	0.2
中学校	羽曳野市	大阪府	全国	対全国差
国語	4.2	4.2	3.9	▲0.3
数学	12.5	12.6	11.3	▲1.2

各教科の無解答率の平均では、小学校では国語・算数とともに粘り強く取り組むことができました。中学校では、前年度より全国的に無解答率が高くなっています。特に数学的な表現を用いて記述する問題では、無解答率が高くなっています。

中学校国語

中学校国語	学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
		羽曳野市	大阪府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	56.1	59.1	59.2
	情報の扱い方に関する事項	55.7	59.4	59.6
	我が国の言語文化に関する事項	74.8	75.8	75.6
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.2	56.4	58.8
	書くこと	58.3	63.3	65.3
	読むこと	45.0	47.2	47.9



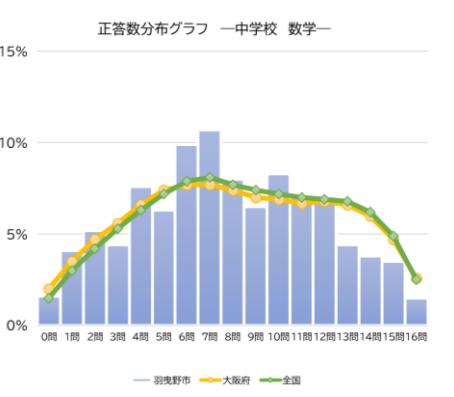
○文書の特徴について理解できていました。

○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることが比較的できていました。

●「思考・判断・表現力等」では、目的に応じて必要な情報に着目して要約することや話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がありました。

中学校数学

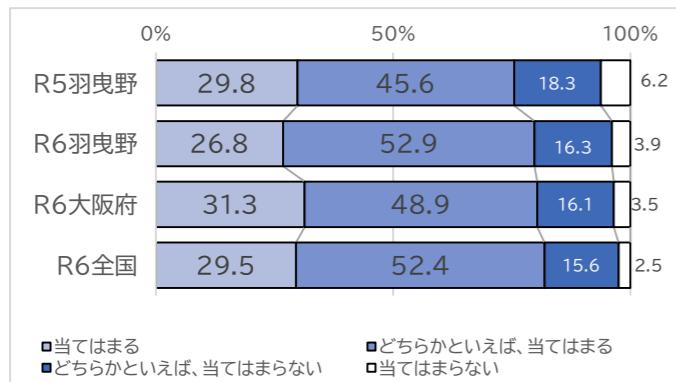
中学校数学	学習指導要領の領域および評価の観点	平均正答率(%)		
		羽曳野市	大阪府	全国
領域	数と計算	48.6	50.4	51.1
	図形	35.5	40.5	40.3
	変化と関係	57.6	58.9	60.7
	データの活用	50	53.3	55.5
評価の観点	知識・技能	60.1	61.9	63.1
	思考・判断・表現	23.6	28.2	29.3



全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果から

小学校

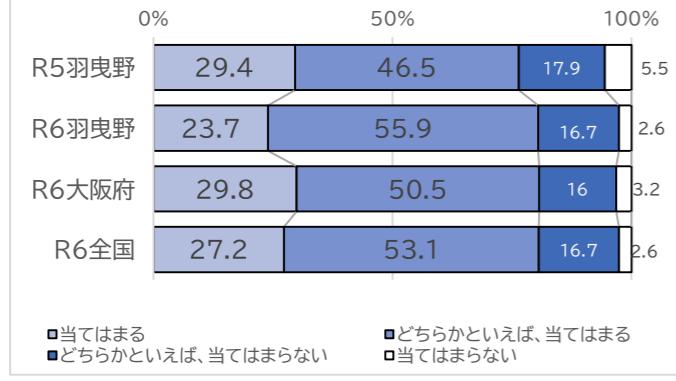
5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



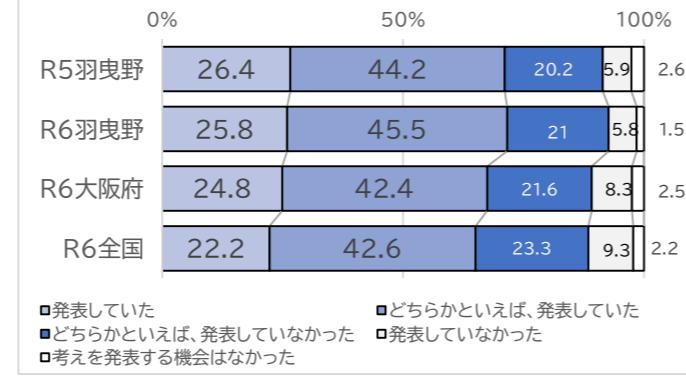
5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。



中学校

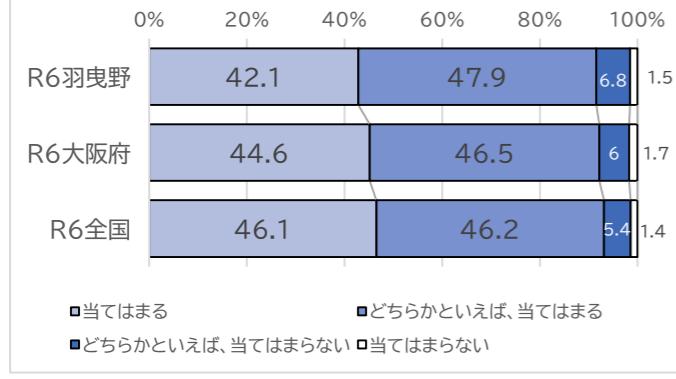


自分で考え、自分から取り組むことができていると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)が増加しています。



自分の考えを工夫して発表していると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)は増加しており、全国・大阪府の割合を上回っています。

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組むことができていると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)は9割程度となっています。

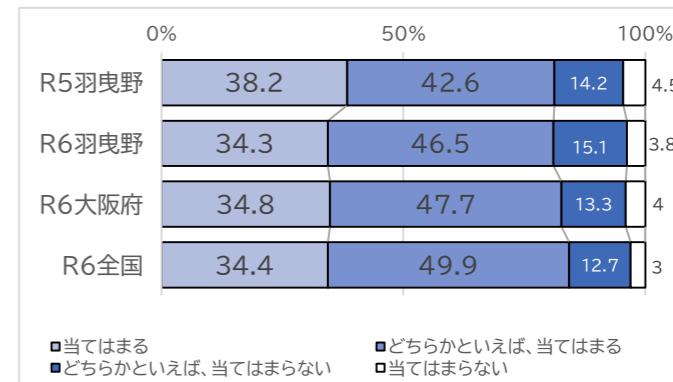
～学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組み状況～

※「肯定的に回答している児童生徒の割合」とは、各質問で「当たる」「どちらかといえば、当たる」等と回答した児童生徒の割合の合計を表したものです。

5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

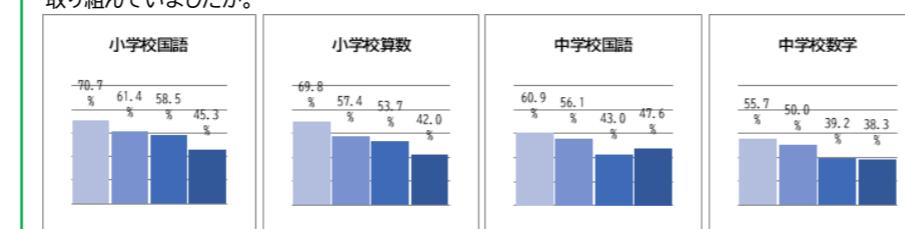


5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

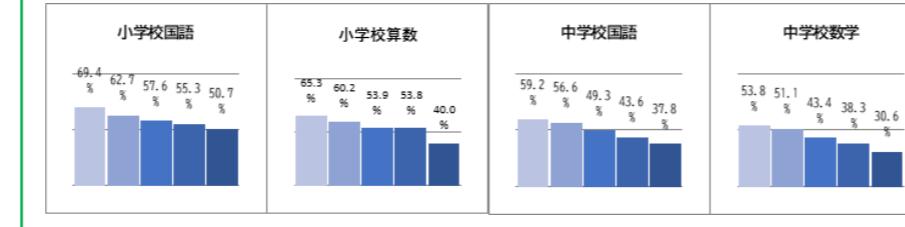


学力調査と質問紙調査の関係 ～クロス集計から見えてくる傾向～

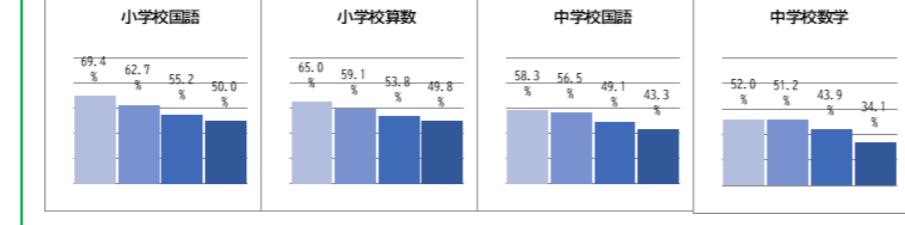
5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

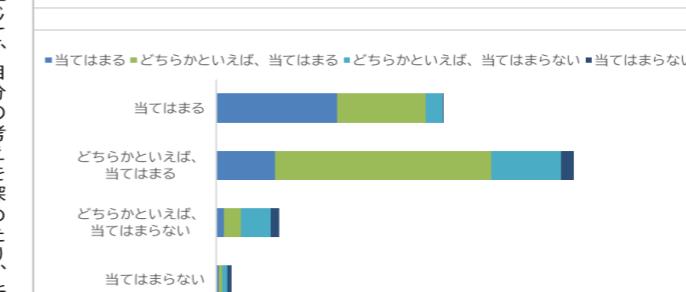
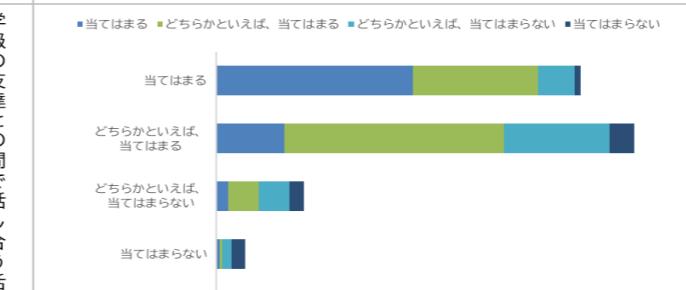


5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。



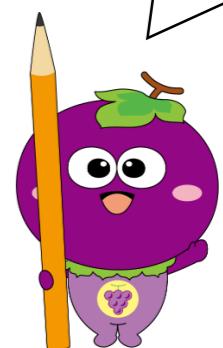
※縦軸:正答率 横軸:回答項目(左から肯定的な回答)

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



各教科や総合的な学習の時間の中で、言語活動(話し合い活動や自分の考えを整理することなど)の時間を大切にしています。

課題の解決に向けて自分から取り組んだり、授業で工夫して発表したり、自分の考えをまとめる活動をしている児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向がありました。また、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方について気付いている児童生徒ほど、自分と違う意見について考えるのは楽しいと回答しており、各教科の正答率が高い傾向がありました。

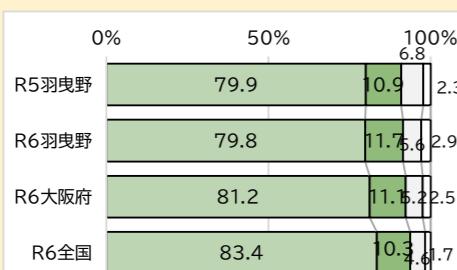


全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果から

小学校

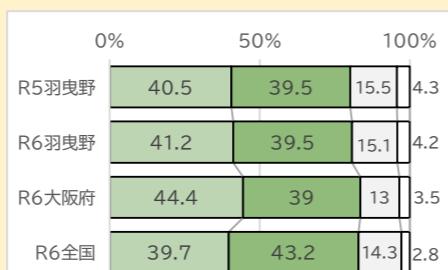
生活習慣

朝食を毎日食べていますか。



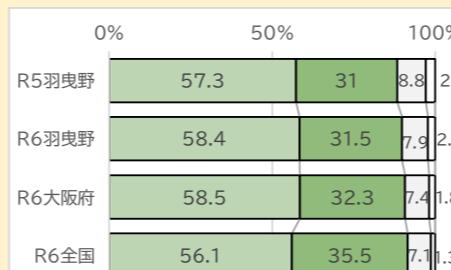
□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



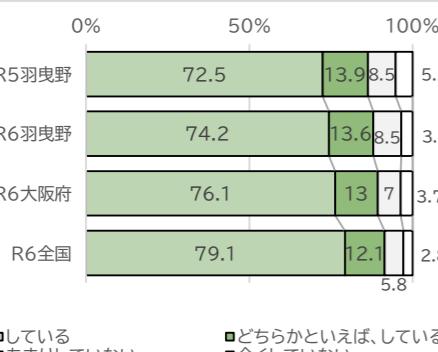
□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない

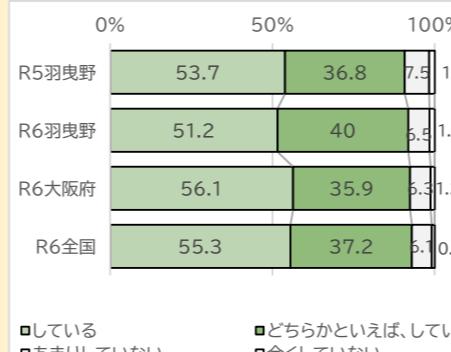
中学校



□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない



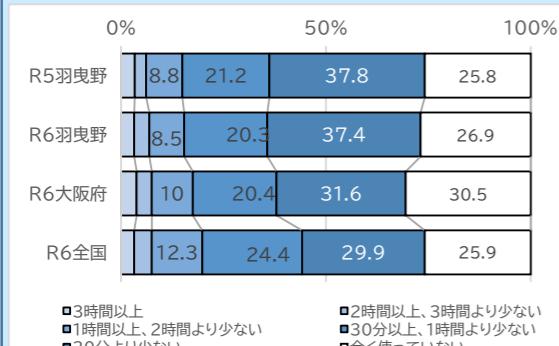
□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない



□している
□あまりしていない
□どちらかといえば、している
□全くしていない

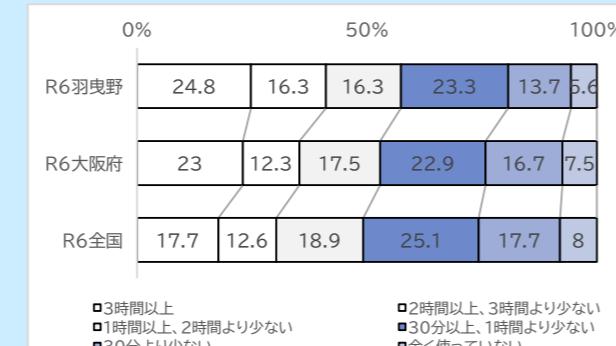
ICTの活用時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。(遊びなどの目的に使う時間は除く)



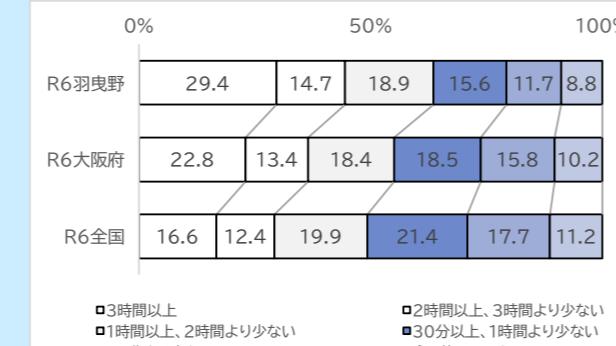
□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分より少ない

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。



□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分以上、1時間より少ない
□30分より少ない

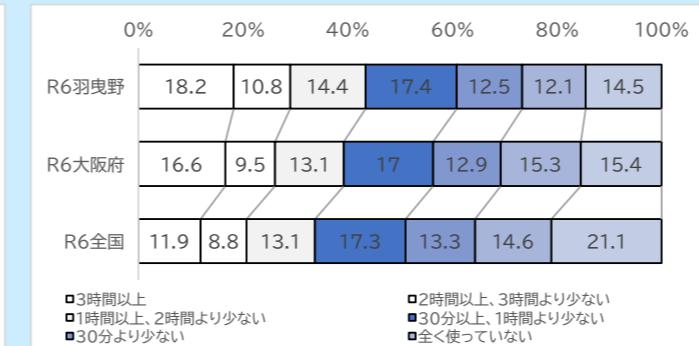
小学校



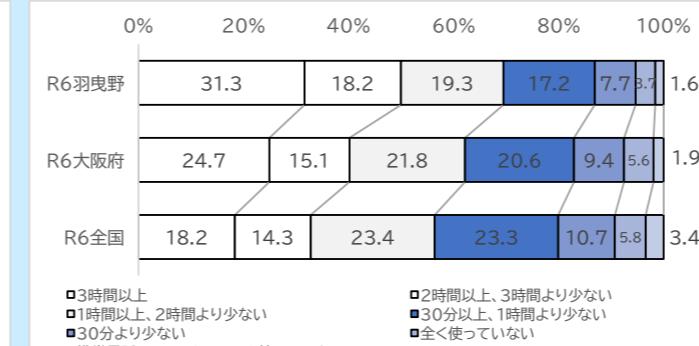
□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分より少ない

中学校

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分以上、1時間より少ない
□30分より少ない
□全く使っていない

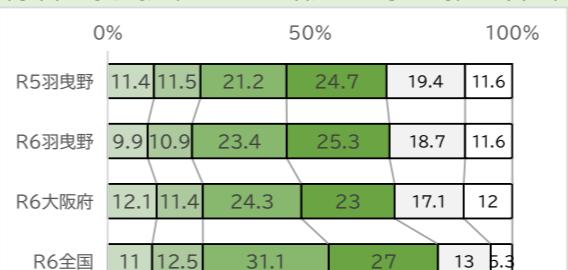


□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分以上、1時間より少ない
□30分より少ない
□全く使っていない

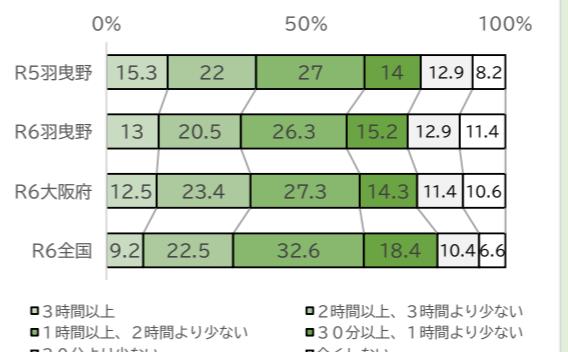
~生活習慣・家庭学習習慣・ICTの活用時間~

家庭学習習慣

学校の授業時間以外の、普段1日当たりの勉強時間(学習塾家庭教師、ネットを活用して学ぶ時間も含む)



□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分以上、1時間より少ない
□30分より少ない
□全くしない



□3時間以上
□1時間以上、2時間より少ない
□30分以上、1時間より少ない
□30分より少ない
□全くしない

過去からの状況～経年比較～

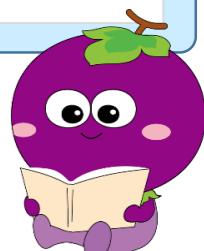
令和6年度	13	20.5	26.3	15.2	12.9	11.4
令和5年度	15.3	22	27	14	12.9	8.2
令和4年度	16.8	22.8	24.5	13.8	11.7	10.3
令和3年度	21.6	26	27.6	10.2	6.2	8.3
平成31年度	16.3	25	27.9	13	9.6	7.9

□1.3時間以上
□3.1時間以上、2時間より少ない
□4.30分以上、1時間より少ない
□5.30分より少ない
□6.全くしない

令和6年度	9.9	10.9	23.4	25.3	18.7	11.6
令和5年度	11.4	11.5	21.2	24.7	19.4	11.6
令和4年度	8.5	12.4	24	25.1	16.1	13.8
令和3年度	12.5	12.3	27.1	22.9	15	10.1
平成31年度	16.8	16	26.9	25.8	8.7	5.4

□1.3時間以上
□3.1時間以上、2時間より少ない
□4.30分以上、1時間より少ない
□5.30分より少ない
□6.全くしない

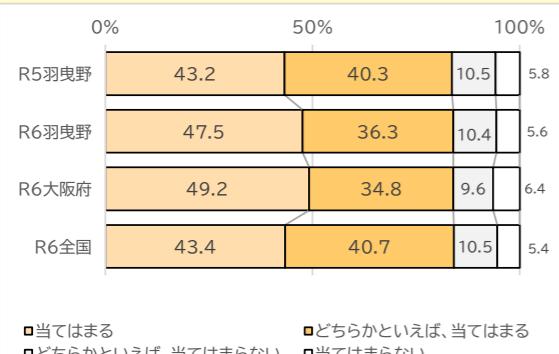
- ・生活習慣が身についている児童生徒ほど、正答率は高い傾向があります。引き続き家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」をよろしくお願ひいたします。
- ・家庭学習の時間では、全国と比較すると、「全くしていない」「30分より少ない」と回答した児童生徒が多くなっています。また、ここ近年で見ると増加傾向が見られます。1時間程度の学習(宿題等を含めた)を目標に少しづつ学習する時間を増やしてみましょう。
- ・一方で、スマートフォン等でのゲームや動画視聴等の時間が、全国と比較しても長い傾向があります。時間を決めて切り替えることが大切です。ICT機器をお子様に持たせる場合、発達段階に応じたルール作りをお願いします。
- 【参考】羽曳野市教育委員会「学習用タブレット端末を活用して学習をするときの約束」<https://www.city.habikino.lg.jp/material/files/group/58/tabletrulu.pdf>



全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の概況

～自己に関すること～

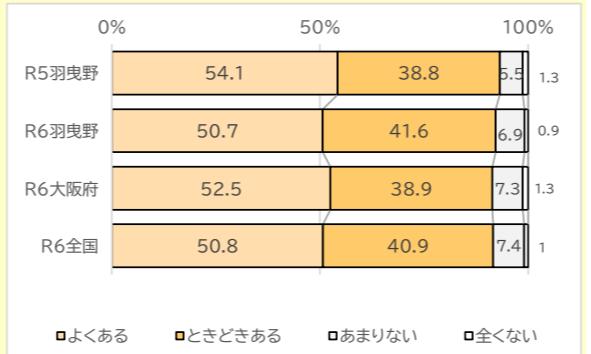
自分によいところがあると思いますか



将来の夢や目標を持っていますか。



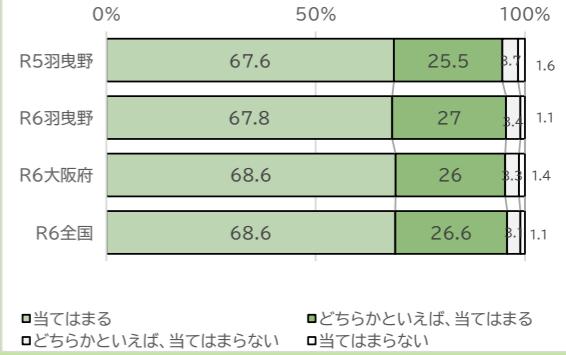
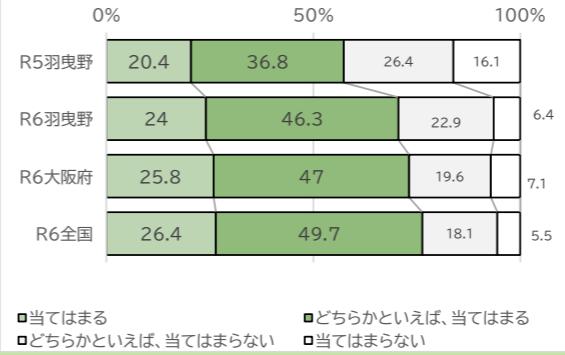
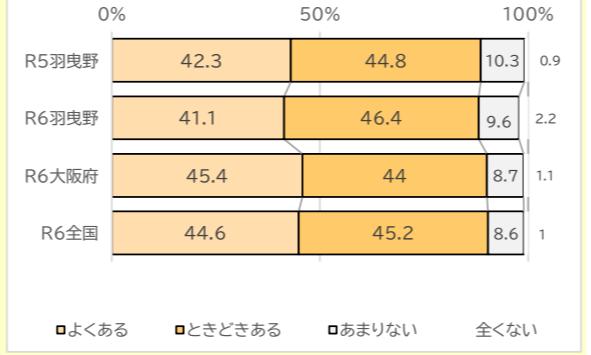
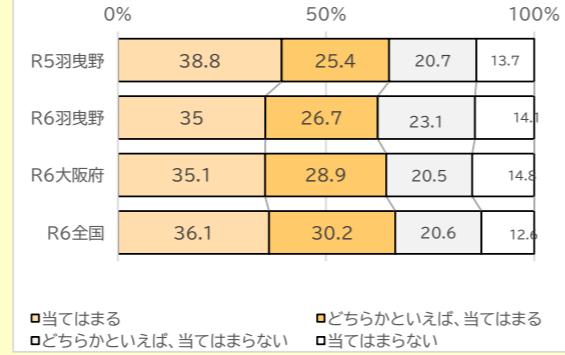
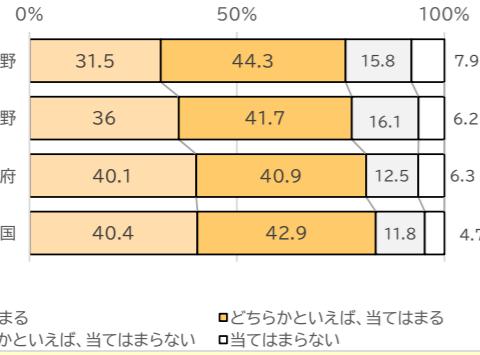
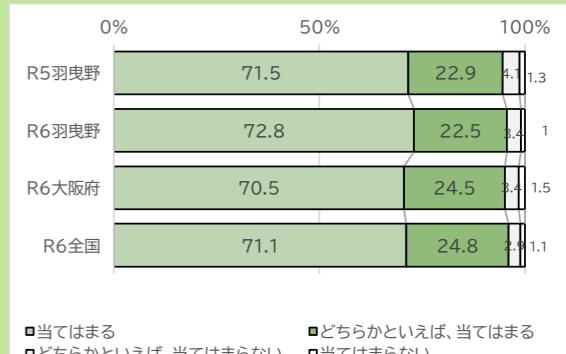
普段の生活の中で、幸せ気持ちになることはどれくらいありますか。



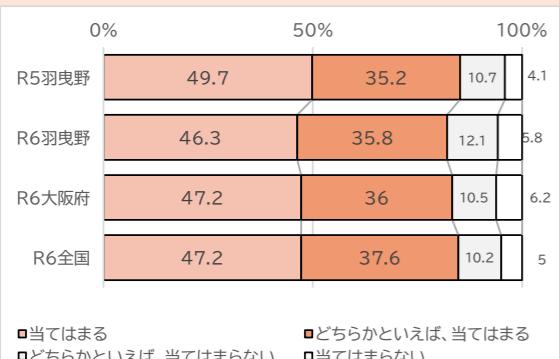
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



人の役に立つ人になりたいと思いますか。



学校に行くのは楽しいと思いますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



友達関係に満足していますか。



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

